# 来 待 小 だ よ り

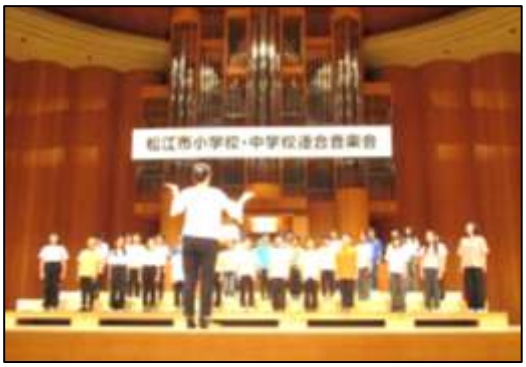
10月号

令和８年10月20日（火）
松江市立来待小学校
校 長　　村上 幸人

来待小ホームページ

## 連合音楽会に出演しました！（４・５年生）

10月２日（金）にプラバホールで開催された松江市連合音楽会で、４・５年生が合唱「ＰＲＩＤＥ（プライド）」と合奏「「名探偵コナン」メインテーマ」を発表しました。９月当初から昼休みなどに自主練習を行い、音楽の授業時間に合同で練習を繰り返して当日を迎えました。壮行演奏会では全校児童で鑑賞しました。



プラバホールでの４・５年生の勇姿

当日は、広い舞台に、多くの観客が周りを取り囲んでいるようで、緊張気味でしたが、舞台に上がると静まり返った会場に澄んだ声が、ホール全体にすうっと広がっていきました。自分たちの歌声が一つにまとまり、響いていきました。その後の合奏でも、自分のパートの音をしっかり演奏し、堂々とした姿で発表できました。音楽の学習で学ぶ表現力を発揮できる貴重な体験の場となりました。

４・５年生の感想（要約しています）
- プラバホールは初めて行ったので、どんな所なのか分からなくてきんちょうしたけれど、パイプオルガンがあって声のひびき方もすごかったです。実際にステージに立ってやってみて、光がまぶしかったけれど、上手に歌ったり合奏したりできました。ずっと練習をしてきたので、（終わって）ちょっとさびしかったです。最後の連合音楽会は楽しかったです。
- プラバホールは初めてで、入る前からきんちょうしていました。ステージから見ると、人がいっぱいいてびっくりしました。でも、いっしょうけんめいがんばりました。ケンハ（鍵盤ハーモニカ）の最後の所がむずかしくて、たくさん練習しました。本番まで友だちと協力して練習に本気で取り組めたし、見にきてくれたお母さんが「よかった！」と言ってくれたので、良い演奏ができたと思います。

※ マーブル(11ch)放送で 11月29日(日)20:00～(初回放送) に放映される予定です。

## 町たんけんに出かけました！（２年生）

来待駅での説明を聞く２年生

10月５日（月）と14日（水）に、２年生は来待駅、来待ストーン、菅原天満宮、大森の湯、いろり茶屋に出かけました。バスに乗って出かけるので、いつも他の学年を見送っていた２年生は「遂に自分たちが出かける番！」とワクワクしていました。それぞれの場所で地域のみなさんにその施設や文化財について分かりやすく教えていただき、質問にも一つ一つお答えいただきました。今後、この経験をもとに、自分たちが住んでいる来待について見つめ、考えていきます。ご協力いただきました皆様にお礼申しあげます。

## 人を大切にする社会を！（６年研究授業・公開授業・すこやか委員会）

６年生の研究授業

10月６日（火）に松江市教育委員会の人権教育訪問指導がありました。市教育委員会の教育指導講師２名をお迎えし、宍道みずうみ学園の教職員、人権教育推進協議会の皆様にも多数お越しいただき、６年社会科の「今も伝わる室町文化」の授業を公開しました。

銀閣寺の庭園づくりでは、身分のうえで差別されてきた人々が活躍したこと、さらに、どうして差別されたのか、どんな差別をされていたのかを資料で調べました。それらは科学的な根拠のない言い伝えであることも知りました。

６年生は「昔も今も差別があって悲しい。」「差別されていた人たちは、あきらめずに自分たちの役割を果たし、社会を支えていたことが分かった。」などの感想をもちました。今後も同和問題学習を進めていきます。

✢　　✢　　✢

10月９日（金）に、人権教育と性に関する指導を視点に当てた公開授業（学級活動、道徳）と「来待すこやか委員会」を行いました。

１年：自分の言葉遣いを振り返り、「ちくちく言葉」ではなく「ふわふわ言葉」を選んで使おうとするとよいことを学びました。

２年：自分と友達には、それぞれ違った「よさ」があることに気づき、それらが認められるうれしさを味わい、お互いを大切にすることを学びました。

３年：受精卵が命の始まりであること、胎児の成長と出産までの様子から、生きようとする胎児の「いのちの力」を感じ、だれもの命を大切にしようとする気持ちをもちました。

４年：周りの人からやさしくしてもらった経験から、その時の気持ちを付箋に書いてお互いに渡し、感じたことをまとめ、お互いを理解し、感謝することの大切さを学びました。

５年：「ありがとう」を言われた場面を想起しながら、道徳の教科書のお話を読み、「ありがとう」の言葉がたくさん飛び交う情景をイメージし、感謝の気持ちを手紙にしました。

６年：「からだの権利」について知り、自分の体は自分の大切なものであり、嫌なことは断ったり、信頼できる大人に相談したりすることの大切さを学びました。

✢　　✢　　✢

その後に開催した「来待すこやか委員会」では、４・５・６年児童とＰＴＡで、松江市在住のライフコーチ・佐藤みどりさんに『自分らしくってなに？』という演題でお話ししていただきました。佐藤さんはLGBT当事者であることをオープンにして生きることを決意され、現在は講演活動等を行っていらっしゃる方です。

「普通の反対は普通じゃない」のではなく、「もう一つの普通」と捉え、自分自身を大切にすることを教えていただきました。佐藤さんの実体験をもとにしたお話は、こどもたちにはもちろん、教職員、保護者にとっても心に残るものでした。

すべての人が「自分でよかった」と思える社会にしたいです。

★学校の活動にご協力いただいた皆様

10月5日(日)に弘長寺弘友会様に、学校裏山の環境整備(3 回目)をしていただきました。 年間を通じてありがとうございました。

宍道地区更生保護女性会様から、図書購入費をご寄贈いただきました。児童の読書活動を推進してまいります。

●国宝松江城天守閣の大修理募金箱の絵を本校児童が応募し最優秀賞を受賞しました！おめでとうございます！市役所にその募金箱が設置されています。最寄りの際にはぜひご覧ください。